

知立市歴史文化基本構想

—歴史とロマンを感じるまち—

概要版



平成 30 年 3 月

知 立 市

I 歴史文化基本構想の策定について

① 策定の背景と目的

知立市は、古代より主要な街道が市域を通過していた特徴から、東西の中継地として栄えました。江戸時代には、東海道宿場町「池鯉鮒」^{ちりりゅう}として栄えた町でもあり、松並木や一里塚が往時をしのばせています。また、平成 28 年(2016)にユネスコ無形文化遺産にも登録された国指定重要無形民俗文化財「知立の山車文楽とからくり」^{だしぶんらく}が 1 年おきに知立神社に奉納上演されていることなど、多様な歴史文化が現在も根付く地域です。

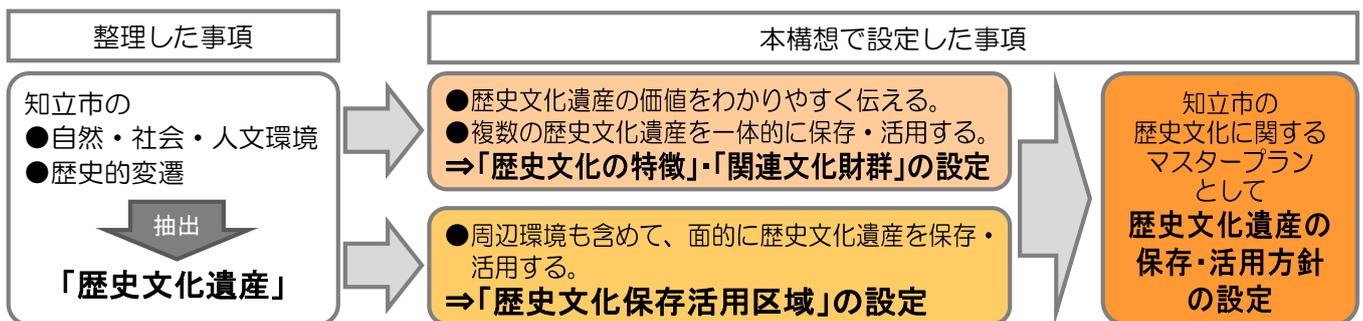
近年の知立市は、住環境、交通利便性、子育て環境の良さからベッドタウンとして人口増加・定住化の傾向にあり、魅力的な住環境の形成に向けた取組みを進めています。

今後、更なる魅力的な住環境の形成に向けては、知立市の歴史とロマンを感じ、この地域に愛着を抱いていただけるように、市民をはじめより多くの人々が知立の歴史文化や風土を理解していただくことが大切であると考えます。また、歴史・文化資源を観光振興等のまちづくりに活かしていくことも、今後の知立市の魅力向上にとって重要なことです。

そのため、知立市では、市の歴史文化を総合的に把握し、関連する歴史・文化資源と周辺環境を一体的に保護しつつ、まちづくりに活かしていくための総合的な方針や方向性を示す構想である「知立市歴史文化基本構想」を策定することとしました。

② 知立市歴史文化基本構想の内容

本構想では、知立市の自然・社会・人文環境や歴史の変遷を整理し、市域内外を問わず知立市の歴史文化に関わるすべてのものを知立市の「歴史文化遺産」として抽出しました。そして、それら「歴史文化遺産」を保存・活用していくために以下の事項を設定しました。



③ 策定までのプロセスと策定後の進め方

本構想は、学識経験者、関係団体、市役所関係部局等により構成される「知立市歴史文化基本構想策定委員会」と「知立市歴史文化基本構想策定 運営委員会」で検討を行いました。また、検討結果についてパブリックコメントを実施して、市民の意見を反映させて取りまとめました。

今後は、本構想で示した方針に基づき、知立市の歴史文化遺産の保存・活用を進めていきます。また、本構想は、今後も知立市の歴史文化の状況に合わせて適宜見直しを行っていきます。

Ⅱ 知立市の歴史文化の特徴

知立市の歴史文化の特徴は、以下の2つによって表現されます。

① 地名「ちりゅう」とその名を冠した知立神社

古代からこの地域の地名である「ちりゅう」は、漢字表記の変化はありつつも、現在でも受け継がれています。また、地名と同じ名前を持つ知立神社も古い歴史を有し、地域のシンボルとなっています。これら古代から引き継ぐ地名「ちりゅう」と知立神社に受け継がれている信仰と祭祀は、知立市の歴史文化の特徴となっています。



(左)「知利布」木簡 (右)東海道五十三次「池鯉鮒」(葛飾北斎)

古代から引き継ぐ地名

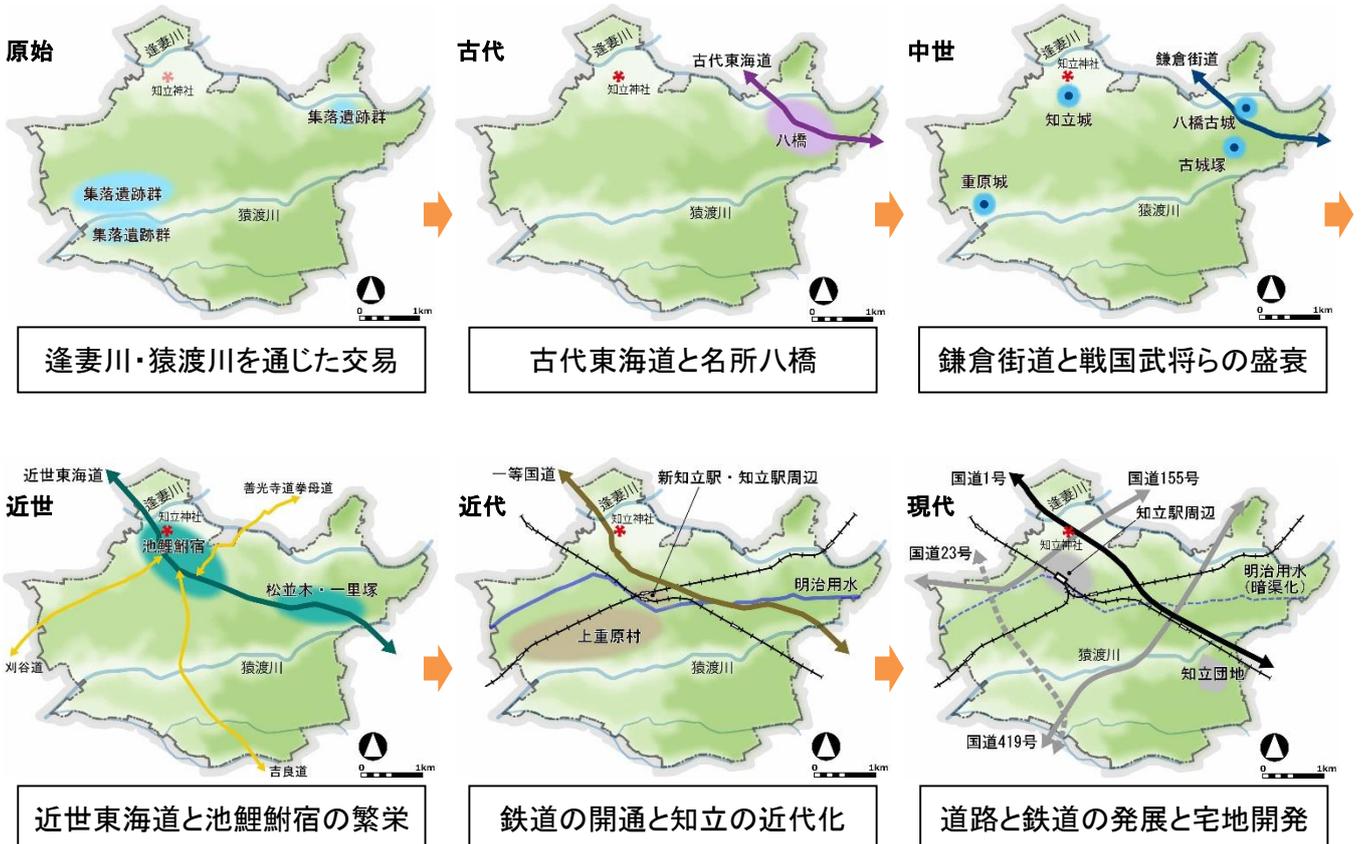


知立神社境内にある多宝塔

知立神社の信仰と祭祀

② 東国への玄関となる尾張と三河の境での交流

知立は、古代から尾張と三河、さらには西日本と東日本を繋ぐ玄関口となる地域でした。原始の頃に河川の水利を活かして他地域との交流が開始されて以降、河川や街道、鉄道等を通じて行き交う人々の交流によって地域が栄えました。東国への玄関となる尾張と三河の境での交流によって培われた歴史文化の特徴は、各時代の交流の形により6つに分けることができます。



Ⅲ 知立市の関連文化財群

「関連文化財群」とは、歴史文化の特徴に関連する歴史文化遺産を群として捉え、その群を魅力的なテーマとしてまとめることにより、関連する歴史文化遺産の価値を分かり易く伝えるものです。また、群として複数の歴史文化遺産をまとめることにより、一体的な保存・活用の推進も図れます。

次頁に示す関連文化財群設定の考え方にに基づき、9つのテーマを設定しました。今後も知立市の関連文化財群を充実させていくために歴史文化遺産や新たなテーマの追加などを検討していきます。

歴史文化の特徴		関連文化財群のテーマ	関連する
地名「ちりゅう」と 知立神社 その名を冠した	古代から 引き継ぐ地名	A 変わらぬ「ちりゅう」 ～古代から引き継ぐ地名の物語～	御手洗公園(御手洗池跡)、御手洗川、扁額「正式位智鯉鮒大明神」、沢庵禅師の漢詩、知立神社 等
	知立神社の 信仰と祭祀	B 受け継がれる知立神社への信仰 ～知立神社の信仰と祭祀の物語～	知立神社多宝塔、知立神社、舞楽面、能面、蛙面、神宮寺跡の碑、永見主膳発行の神札、徳川家康判物写、長勝院お万の方書状 等
	山車文楽とからくり により継承されてきた交流	C 神社の祭祀から世界のまつりへ ～山車文楽とからくりにより継承されてきた交流の物語～	知立の山車文楽とからくり、知立の「からくり」、知立まつり、山車文楽、中町祭礼帳、山車、平治合戦からくり人形、山車文楽かしら 等
東国への玄関となる尾張と三河の境での交流	逢妻川・猿渡川を 通じた交易	D 集落遺跡から読み解く交流のはじまり ～逢妻川・猿渡川を通じた交易の物語～	逢妻川、猿渡川、荒新切遺跡、永崎遺跡(西中貝塚)、小針遺跡、丸山古墳、石鏃類、手焙型土器、製塩土器 等
	古代東海道と 名所八橋	E 伝説と景勝の地・八橋 ～古代東海道と名所八橋の物語～	業平供養塔、杜若姫供養塔、八橋伝説地、八橋古碑、竹製笈、八橋売茶翁肖像、杜若池、無量壽寺本堂、在原寺 等
	鎌倉街道と 戦国武将らの盛衰	F 重原から展開する武家の興り ～鎌倉街道と戦国武将らの盛衰の物語～	鎌倉街道(京鎌倉往還)、根上りの松、萬福寺、加賀野井弥八郎秀望墓、追腹塚、知立古城跡、八橋古城跡、重原城跡 等
	近世東海道と 池鯉鮒宿の繁栄	G 池鯉鮒宿と沿道の市の賑わい ～近世東海道と池鯉鮒宿の繁栄の物語～	池鯉鮒宿本陣御宿帳、池鯉鮒宿御用向諸用向覚書帳、池鯉鮒宿脇本陣玄閤、郷倉、来迎寺一里塚、知立松並木、馬市の跡 等
	鉄道の開通と 知立の近代化	H 明治用水から鉄道へ繋がる近代化 ～鉄道の開通と知立の近代化の物語～	明治用水西井筋、養正館、旧碧海郡販売購買組合連合会知立支庫、名鉄知立高架橋、岐阜屋、山城屋、内藤魯一像 等
	道路と鉄道の発展 と宅地開発	I 知立団地から始まる住みよいまちづくり ～鉄道と道路の発展と宅地開発の物語～	昭和6号公園、自由と平和の像、合併に関する申入書、遍照院、弘法大師御命日(弘法さん)、知立よいとこ祭り、あんまき 等

<知立市の関連文化財群設定の考え方>

- ・2つの歴史文化の特徴を8つの具体例に基づき細分化し、9つのテーマを設定します。
- ・関連文化財群のテーマを分かり易く伝えるため、各テーマを物語る上で重要となるストーリーを設定します。

※ 「関連する歴史文化遺産」のうち、下線が引かれている歴史文化遺産は写真掲載のもの

歴史文化遺産※		ストーリーのタイトル
	古代より現代まで継承されている「ちりゅう」の地名と関係が深かった知立神社や、地名表記の由来に関係する伝承地、各時代の表記を知ることができる史資料等を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●地名の由来から偲ぶ古代の「ちりゅう」 ●江戸時代は「池鯉鮒」 ●移り変わる「ちりゅう」
	古代から広く崇敬を集めた知立神社の長い歴史を裏付ける伝説や逸話、現在も継承される祭祀等を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●雨乞いの神社 ●<u>まむし</u> 蝮よけのお札から見る知立神社の祭祀 ●徳川將軍家と知立神社との繋がり
	知立神社への奉納行事として始まり、江戸時代の池鯉鮒宿の隆盛とともに発展し、「神社祭祀」から「知立まつり」へと変容していく「知立の山車文楽とからくり」に関わる歴史文化遺産を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●知立の山車文楽とからくりの誕生 ●地域での交流が繋ぐ伝統芸能の継承 ●知立の山車文楽とからくりを通じて世界に広がる交流
	逢妻川と猿渡川下流域沿岸で確認されている縄文時代から古墳時代の集落遺跡や出土品を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●黒曜石に見る交流の広がり ●水運から繋がる古代東海道への道 ●原始から未来を繋ぐ荒新切遺跡
	古代東海道跡や当時からの名所であった八橋の伝説、江戸時代の八橋売茶翁による八橋再興に関わる歴史文化遺産を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●日本の文化を支えた『伊勢物語』の歌枕八橋かきつばた ●八橋売茶翁と八橋再興 ●京和菓子「ハツ橋」の由来
	重原荘の本貫地である重原に武家として興った重原氏にはじまり、東国と京都を結んだ鎌倉街道、様々な武将が支配する戦乱の地へと変化していった中世知立に関する歴史文化遺産を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●重原荘からの武家の興り ●鎌倉街道と八橋宿 ●重原城と戦国時代
	江戸時代に近世東海道の整備によって設置された一里塚や松並木、そして池鯉鮒宿と沿道の市が繁栄した近世知立に関わる歴史文化遺産を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●池鯉鮒宿の宿並び ●東海道作品に伝えられる池鯉鮒の市
	知立の近代化の先駆けとなる明治時代の明治用水開拓事業や、大正時代の鉄道路線整備等により新たな交通の要衝として生まれ変わった近代知立に関わる歴史文化遺産を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●内藤魯一による近代化の息吹 ●明治用水開拓と近代知立の農業の発展 ●鉄道による新たな交通の要衝への生まれ変わり
	戦後、周辺地域で工業化が進む中、知立町が工場誘致よりも団地誘致の方針を掲げて以降、市域で進められてきた住みよいまちづくりに向けた現代知立に関わる歴史文化遺産を包括するテーマ。	<ul style="list-style-type: none"> ●町村合併論争からの知立市の誕生 ●知立団地の歴史 ●地域に根付く「弘法さん」とあんまき

Ⅳ 歴史文化保存活用区域

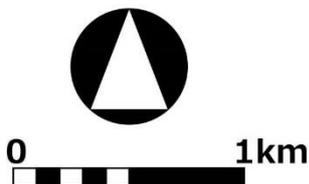
「歴史文化保存活用区域」とは、歴史文化遺産とその周辺環境の一体的な保存を図り、歴史文化を活かしたまちづくりの中心となる区域です。知立市の歴史文化の特徴を表わす重要な歴史文化遺産が立地する場所や、まちづくりや観光への活用が求められる場所など、保存・活用の取組みを行うことが効果的な区域を設定しました。

また、歴史文化保存活用区域内でも、知立市を代表する歴史文化遺産が集積し、歴史文化を活かしたまちづくりを進める上で中心となる場所は、上記の取組みを優先的・重点的に行う地区として、「重点地区」に位置付けました。

猿渡川と共に流れる歴史の区域



猿渡川を挟み、萬福寺や重原城跡などが立地する上重原と、荒新切遺跡などの考古遺跡が多く位置する西中を併せた区域です。



	歴史文化保存活用区域
	重点地区
	主な歴史文化遺産

知立神社と街道が育んだ文化の区域



知立市に残る歴史文化遺産の中でも特に知名度の高いものが集積する区域です。近世東海道沿いに、西側には知立神社や池鯉鮒宿など、東側には知立松並木や来迎寺一里塚などの歴史文化遺産が位置しています。また、『伊勢物語』で有名な八橋かきつばたに関連する歴史文化遺産は、鎌倉街道沿いに位置しています。

重点地区



知立神社地区



池鯉鮒宿跡地区



知立松並木地区



歌枕八橋かきつばた地区



現代に生きる「弘法さん」の区域



遍照院を中心として、「弘法さん」の日には露店による賑わいを見せる弘法通りを含む区域です。

V 歴史文化遺産の保存・活用の基本的方針

これまで知立市では、歴史文化遺産の保護や普及活動、観光を中心とした活用を実施しています。また、「知立の山車文楽とからくり」に代表されるように市の歴史文化遺産の保存と継承やそれらを活かした活動が多く多くの市民の手によって行われています。

今後、これまで実施してきた活動と行政と市民が相互に協力する体制を強化し、歴史文化遺産の保存・活用を推進するための主要な方針を次のように決めました。

① 歴史文化遺産の普及と保護の促進

- ・歴史文化遺産に関する市民向けの効果的な刊行物の作成やイベント等の開催
- ・歴史文化遺産の保存・修復状況が理解できる「歴史文化遺産台帳」の作成
- ・歴史文化遺産保護のための継続的な情報収集
- ・地域全体での技術継承に向けた体制づくりの検討 等

② 調査・研究の継続

- ・継続した文化財の調査や研究を計画・実施

③ 歴史文化遺産の適切な活用の推進

- ・教育分野での歴史文化遺産の活用推進
- ・生徒や市民が自主的に知立市の歴史文化について学ぶ機会の増加
- ・国内外からの来訪者の呼び込みの推進
- ・文化施設の積極的な活用 等

④ 関連文化財群の保存・活用の推進

- ・歴史文化遺産の抽出と新たなテーマ・ストーリーの構築に向けた調査・研究の継続
- ・関連文化財群ごとの歴史文化遺産の積極的な公開 等

⑤ 歴史文化遺産の周辺環境と一体となった面的な保存・活用の推進

- ・歴史文化保存活用区域内の歴史文化遺産の保存・活用の取組みの推進

⑥ 行政と地域社会の連携・協働に向けた体制づくりの推進

- ・市民、市民団体、民間企業などが積極的に参加できる歴史文化遺産の調査や保護の仕組みの検討
- ・市民主導の歴史文化遺産周辺の清掃活動や歴史文化遺産のサポーター制度等の仕組みづくりの推進 等

表紙写真：国重要無形民俗 知立の山車文楽とからくり（左上）、国重要文化財 知立神社多宝塔（右上）、市指定名勝 無量壽寺杜若池（左下）、市指定天然記念物 知立松並木（右下）

知立市歴史文化基本構想 概要版

発行日	平成 30 年(2018) 3 月
発行	知立市教育委員会
編集	知立市教育委員会文化課 〒472-0053 愛知県知立市南新地二丁目 3 番地 3 TEL : 0566-83-1133 E-mail : siryokan@city.chiryu.lg.jp